



屋根材がはがれたアパート

ら、いち早く災害本部が立ち上げられ、また行政による支援金や住宅の手配などの段取りも円滑に行われています。(表2)

被災された皆様に一日も早く日常生活が戻ることをご祈念いたします。

表2 行政による資金的支援

熊谷市	被災者生活再建支援金	300万円(全壊の住家)など
	竜巻災害復旧支援金	20万円(半壊の住家)など
	災害見舞金	10万円(全壊の住家)など
	特別災害見舞金	1万円(非住家の損害)
行田市	見舞金	1万円(住家の損害)

※熊谷市においては、10世帯以上の住宅が全壊する被害が発生したため、被災者生活再建支援法が適用されています。

INFORMATION

■明るい日本を創る座談会

熊谷市佐谷田地区10月31日(木)午後6時～
熊谷市佐谷田 鈴木様宅にて
※詳細は事務所までご一報ください。

■街頭演説

10月19日(土) 午前11:00～八木橋東口前
11:20～熊谷駅北口
11:45～埼玉りそな銀行行田支店前
12:20～梅林堂羽生店前
12:50～「加須市役所入口」交差点

※日時は都合により変更する場合があります。
ご参加いただける場合は、事務所までご一報ください!

いよいよ今月開催!
まだ若干お席あります!
ケーキ・コーヒー付きです!

■モリモリコンサート

10月17日(木)午後2:00～
ガーデンパレスにて 会費2,500円
地元の若手ピアニスト森田義史さんとコラボレーション!
お申し込みは事務所までご一報ください。

活動報告



各地にて(熊谷→行田→羽生→加須) 9/29



座談会 熊谷市間々田地区 西倉様宅にて 9/22

地域でがんばる人をご紹介します!! 地元のがんばりリスト

Gambarist



地元の野菜に季節を載せて! 梅澤康浩さん(熊谷市)

熊谷市河原町にてフランス料理アコモデを営んでいらっしゃるのはオーナーシェフ梅澤康浩さん(40)。



元々行田市の出身で、現

奥様と二人三脚で

在は奥様と共に地元の野菜たっぷりのお料理を出してくださっています。

料理の世界に入ったきっかけは、18歳の時に始めたパスタ屋さんでのアルバイト。学校を出てから一度は旅行会社に就職したものの、料理の世界への興味が大きくなり、再び料理の世界へ。熊谷のお店から始まり、北海道のペンションなどでも勤務されたとのこと。東京



彩り豊かな食材

のレストランでオーガニック、ナチュラルフードの魅力にふれたことで、野菜や塩へのこだわりを持つようになったそうです。鴻巣のレストランで7年間料理長を務めた後、熊谷にて

独立開業。現在のお店をオープンさせたのは今年の2月です。

毎日農家の方や農協の直売所を訪ね、地元の季節の野菜を仕入れます。熊谷にはいろいろな種類の野菜があるそうで、料理では常に新鮮な彩りを楽しむことができます。「小さくても一番光を放つダイヤモンドのようなお店にしたい」と今後の抱負を語ってくださいました。

地元の食材たっぷりのフレンチ、ぜひ皆様もご賞味ください!



一皿一皿に思いを込めて